

川崎市民のための生涯学習情報誌

Stage Up

ステージアップ VOL.200 2014年10月1日(隔月発行)



200号 記念特集

~古きを温め 新しきを知る~

もくじ

- 2 まち・ひと・多面体
- 3 シニアのパレット
- 4 特集
~古きを温め
新しきを知る~
- 6 施設めぐり
- 7 情報ポケット

《かわさきの名所シリーズ④》

昭和電工川崎事業所本事務所 国登録有形文化財

誌 上 ギ ャ ラ リ ー

1931年、昭和電工(株)の前身である昭和肥料(株)の事務所として建設され、昭和初期の京浜工業地帯の川崎臨海部における代表的な工業建築の一つです。1999年に川崎市として民間初の国登録有形文化財として登録されました。外観は、縦長の窓を並べた鉄筋コンクリート造2階建の陸屋根で正面に車寄せを低平に付き出した簡素な意匠です。玄関に入っすぐ、吹き抜けの階段部分と階段や手すり、腰壁の装飾に、当時の面影がしのべられます。現在は、映画やドラマのロケにも使われています。

《交通手段》JR川崎駅からバス、8番乗り場 臨港バスの川22系統「JX日鉱日石エネルギー川崎事業所前」下車、徒歩1分



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

<http://www.kpal.or.jp/> Eメール:stage-up@kpal.or.jp



当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

まち・ひと・多面体

矢上川の自然を大切に、川に親しむために

～「矢上川で遊ぶ会」の活動～

筆者が子どもの頃、蝉の声が鳴きはじめると水辺に来て遊ぶ子どもたちのことを「川ガキ」と呼んでいました。その川ガキも安全面からかめっきり少なくなりました。しかし、幸区と横浜市港北区の境を流れる矢上川下流周辺で「足元の自然を大事にする」を主目的にしなが、自然体験や自然観察を通して身近な自然に楽しく親しみたいと活動している「矢上川で遊ぶ会」(以下、「会」という。)の代表である庄司佳子さんから活動について伺いました。

水河期まで遡る 矢上川

矢上川は、1億2000万年前の氷河期の終期にかけて気温の上昇で氷が解けてできた川です。その矢上川の現在は、宮前区犬蔵の宮前美しの森公園を源流とし、南下しながら有馬川、江川、渋川とが合流し、最後は、鶴見川と合流する全長約13km、流域面積25.2km²の川です。



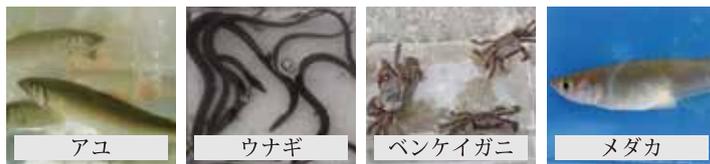
矢上川下流周辺は、植物、魚、鳥類の宝庫!

「会」の調査から矢上川周辺に生息する主な動植物を紹介します。

1.《植物や樹木》 多種の野草やクルミの木等177種 (1996年～2012年調査)



2.《魚や水生昆虫》冬の魚や水辺の生きもの等52種 (2000年～2012年調査)



3.《野鳥類》 カワセミやカモ類等70種 (1996年～2012年調査)



クリーンアップと遊ぶ会

矢上川周辺は、多種類の動植物が生息しています。川の水や周辺の環境が汚れると、その動植物に悪影響を与えてしまうと心配した庄司さんは、環境保全活動(ゴミ清掃や除草等)を呼びかけ、1996年に「会」を立ち上げました。最初は環境保全活動が中心でしたが、川で遊ぶ楽しさや川の自然を子どもたちに知ってほしいと自然観察や体験を増やし、互いに学び合える工夫をしてきました。

また、環境保全活動を行うきっかけとなったのは、幸区が開催した環境講座の中で慶応大学名誉教授である岸由二先生を講師に招き開催した自然観察会の企画員として参加してからと話します。「会」を立ち上げるまでには、多くの時間を要したといいますが、町会や子ども会、新聞社等の協力を得ながら現在は、30人以上の会員で活動しています。

矢上川の四季折々の活動



- ①毎月第2土曜日「ミクリわんどのクリーンアップと生きもの観察」
- ②季節ごとの取組(表参照)
- ③環境学習支援の実施。

クリーンアップしながら子どもから大人まで自然と生きものについて学んでいます。

《季節ごとの取組》

4月	野草観察会	10月	矢上川クリーンアップとハゼ釣り
5月	ウナギ観察会	11月	エコツアー流域めぐり
6月	矢上川クリーンアップ	12月	冬の鳥調査
7月	夏の生きもの調査	3月	日吉分館さくらフェスタ日吉出展

「ミクリわんど」の活動

矢上川の鷹野大橋下左岸にできた小さな「わんど」(川の上よみや水溜りのこと)には、湖沼や水深の浅い場所に生える貴重種のミクリが自生しています。ミクリが生えるところは水生昆虫も住みやすいことから、ミクリや小魚・水辺の小さな生きものを守るために「ミクリわんど」と名付けて活動を続けています。活動は第2土曜日の午前中に行い、参加者から「釣れたよ!採れたよ!見つけたよ!」の大歓声が聞こえたり笑顔が見られたりすると一緒に時間が過ぎて良かったと話します。「子どもは次世代の環境保全活動の担い手。環境問題に関心をもち行動できるきっかけをつくるのが大人の役割。身近な川を大切にすることから、自然の大切さを知り、地球規模の課題にも気づき行動する人に育ててほしい」と今後の「会」への活動と役割に期待を膨らませます。



【参考資料『知って遊んで矢上川』から】

■問合せ:「矢上川で遊ぶ会」代表 庄司佳子 TEL 044-588-7929

シニアのレット

高齢者が安心して過ごせるまちづくり

～南平ふれあいルームの取組～

高齢者が誰にも看取られることなく息を引き取り、相当期間放置されている「孤独死」は、今日的な課題の一つです。その孤独死を無くそうと取り組む齋川渡さんは、宮前区の市営南平耐火住宅に住んでいます。

齋川さんご自身も高齢ですが高齢者の見守りを現在も続けています。齋川さんが見守りを始めたきっかけは、過去に同住宅で70歳の女性が孤独死をしたからだといいます。



市営南平耐火住宅は、築50年が過ぎ当時入居した人も70歳を超え、今では一人暮らしも増えてきているとその現状を説明します。当初は齋川さん一人で行っていた見守り活動でしたが、2011年から3年間で現在の「南平ふれあいルーム」(以下、「ルーム」という。)を立ち上げ組織として取り組み始めました。「ルーム」の活動は、①「交流サロン」の開催。(毎月第4木曜日に定期開催)②70歳以上の見守り。③高齢者を対象に電球の交換を行っています。活動の一つひとつが、高齢者の生きがいややりがいにも繋がる大切な取り組みです。

「交流サロン」は、お茶菓子を囲みながらおしゃべりや趣味を語り合い、高齢者や独り暮らしにとっては、孤独感の解消になっています。また、行政や関係機関とも連携し健康相談や介護相談も続けています。相談者からも、他の人の様子を知ることができ見守り活動に生かされていると説明します。「見守り活動」の対象者は、70歳以上。常に2名体制で毎日欠かさず行っています。最近



は、不審者に間違われぬように名札をつける気遣いもしています。安否の確認目印は、一人ひとりにタオル



やハンカチ等をベランダや窓枠に出してもらい、毎日それを確認します。

「確認できた瞬間は、本当に安堵の気持ち。見守り中に、『ありがとう』『外へ出られないので見守りをする人の服装で季節を感じる』と言われると辛いことでも吹き飛ばしてしまう」と話します。また、「尊い生命を見守る取り組みにかかわれることは、責任もあるがとても光栄なこと。これからも交流スペースを有効に活用し、ふれあいの場を増やしながらかみ守り活動を広げていきたい」と今後の抱負を話します。

■問合せ：南平ふれあいルーム 齋川 渡 TEL 044-977-6440

視覚障害がある人や高齢者のための拡大写本

～「ルーペの会」の取組～

拡大写本は、文字を読むのが困難な人のためにその人に最も読みやすい文字の大きさと書き写した本をいいます。弱視の人の見え方は、人それぞれで個別対応が必要となります。今回その拡大写本を作成する「ルーペの会」(以下、「会」という。)を訪ね代表の山田由紀子さんから取り組みについて伺いました。「会」は、1985年に発足し今年で29年目となります。これまでの取り組みが認められ「神奈川県民功労賞」を受賞されています。現在、会員は約40人で、小グループに分かれて活動しています。



作成するうえでは、いつも読む人の立場になって作成しているといいます。文字一つひとつの大きさや書体を揃えるという細心の注意を払い、教科書の作成では、保護者や子どもの要望も取り入れています。本のページ数にもよりますが、完成までに約3～4カ月はかかる大変な作業でもあります。



て学ぶ人も多く、新しい発見の連続と共通目標で学び合えることが生涯、学習を続けているような気がすると話します。取材時は、週1回行われる拡大写本の詳細な確認をグループごとに行っていました。各会員が進めてきた写本をもちより一つひとつ丁寧に確認し、どんな小さなことも見過ごさないという慎重さを強く感じました。

今後も「最新情報を積極的に取り入れ、教科書以外の拡大写本にも取り組みたい」といいます。

「完成までには長い時間かかるが、使用者からお礼のお手紙や喜びの声が届くとすごく癒される。だから続けられる」と笑みを浮かべます。



■問合せ：川崎市北部身体障害者福祉会館
TEL 044-811-6631



発行 200 号記念 川崎市民のための生涯学習情報誌

Stage Up

～古きを温め 新しきを知る～

ステージアップは1990年11月に創刊され、それから24年目の今年、10月の発行で200号となります。そこで200号の発行記念特集として、改めてステージアップの目的やあゆみを振り返るとともに、ステージアップの編集に関わった方や読者の方からお話を伺い、さらにステージアップを市民の生涯学習の一助となるよう、その役割を果たしていきたいと考えます。



ステージアップの目的とあゆみ

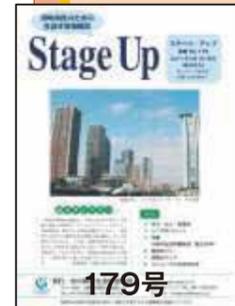
時代に応じた生涯学習

ステージアップの目的は、急速な高齢化・情報化・国際化等の進展によって社会構造が大きく変化しているとき、市民の皆さんがこれらの変化に対応するための情報誌として、ステージアップを発刊しました。その「ステージアップ」の名前は、学習・文化・スポーツ等の楽しみ方も、人々のライフステージによって様々なことから、より豊かな暮らしを創ることを願って名づけられています。市民の皆様のニーズに応えるべく、内容を吟味し、情報提供、情報発信を行ってきました。ステージアップのあゆみは、つぎの通りです。

- 1990年11月創刊、B 5版、2,000部発行
- 1991年 9月第4号から年6回隔月刊、テーマの設定を【市民がつくる 市民が学ぶ 市民が拓く生涯学習情報誌】
- 1992年 5月第8号から年10回発行、カラー化
- 1996年 5月第48号から13,000部発行
- 2000年 5月第88号からA 4版にリニューアル
- 2006年 6月第150号から隔月、10,000部発行
- 2010年 4月第173号からテーマの設定を【一人ひとりの学びと活動を支援する生涯学習情報誌】
- 2011年 6月第180号からテーマの設定を【川崎市民のための生涯学習情報誌】

これからのステージアップの果たす役割と方向性

創刊号から24年を経たステージアップは、市民の皆様の生涯学習活動を支援するための情報誌として、皆様に愛され親しまれてきました。現在は、市民力を活かした地域社会の創造、生涯学習の充実を基本方針に、市民の皆様の諸活動や生涯学習施設の紹介と併せて、生涯学習社会の実現に向けての地域や生活の課題解決に向けた情報提供を心がけてきました。今後も市民の皆様の学習ニーズや課題に的確に対応する情報誌として、財団のホームページや「かわさきの生涯学習情報(KSJ)」とも一体になった情報提供システムを構築し、市民の皆様の期待に応えていきたいと思ひます。



ステージアップの構成と内容

表紙 年度ごとにテーマを決めて、市内美術館や博物館等の館所藏品、市民グループ・個人の活動から生まれた優れた作品や市内の名所等を取り上げて紹介しています。今年度は、川崎市の国・県・市の有形文化財や重要歴史記念物等の「かわさきの名所シリーズ」を紹介しています。

まち・ひと・多面体 グループや個人等、ユニークな活動と地域での活動等注目すべき取り組みについて紹介しています。

シニアのバレット シニア世代を中心に、社会貢献や趣味を生かし、地域での学習を通じた、継続的、発展的な活動を様々な世代の取り組みとして幅広く発信しています。

特集 クローズアップしたい課題や取り組みを取材し、市民の皆様に分かりやすく紹介しています。

- ・全市的な規模で長期にわたって取り組まれている文化的活動
- ・多くの団体が一つの目的に力を合わせて取り組んでいる活動
- ・共通した目的や理念に基づいて設置された施設
- ・市民の豊かな生涯学習活動に取り組む施設や組織
- ・全的に注目を集めて企画された施設やイベント等の取り組み

施設めぐり 市内公的施設および当財団が管理運営する施設の紹介と市内施設の各種取組や当財団が主催する講座を紹介しています。

情報ポケット 市内施設の各種取り組みと当財団が主催する講座等の案内を情報として伝えています。



元編集者の声(インタビューから)

発刊200号を迎え、以前にステージアップを編集されていた江頭秀夫氏に話を伺いました。

「ステージアップが200号になるんですね。私たちの頃から比べると記事の範囲が広がり、詳しくなっていますね。私が編集しているころから地域に還元できることを強く意識して行うようになってきたころでした。特に市民アカデミーの内容が市民に還元できることを考えて、編集していました。また、編集の考え方についても、市民のサイドから見てどうかという市民主体を意識して取り組みました。ステージアップのこれからの方向性の一つとして、高齢の方と子どもたちのかかわりをクローズアップしながら取り上げてみてはと思います。そのようなことから市民の生涯学習へとつながっていくのではないかと思います。」

読者の声(アンケートから)

読者Aさん

「何時も読ませていただいています。今の教育の様子や各種講座のことがよく分かります。もっといろいろな講座についても載せてもらえればと思います。」

読者Bさん

「市民の活動内容が分かって興味深いものがあります。『まち・ひと・多面体』など参考になります。」

読者Cさん

「特集は面白いです。199号の『地球の温暖化ストップ!川崎の取組から』を興味深く読ませていただきました。身近なところで環境問題に前向きに取り組んでいる団体や会社があることに気づきました。様々な地域の取り組みをこれからも載せて欲しいと思います。」



施設めぐり

高津区 川崎市子ども夢パーク JR南武線津田山駅下車5分 TEL 044-811-2001

子どもたちの「やってみたい!」と思えるような遊具が夢パークには多くあります。スタッフと子どもたちで作った工夫いっぱいの遊具を紹介します。

夢パークのシンボリック3階建のタワー。昇るはしごの間隔を広くし、自力で登れる子たちが挑戦できるように工夫されています。

8本の長い柱が立ち、遊び方や利用の仕方がその時々で変わることから、トランスフォーマーと呼ばれています。一人用のハンモックやブランコを付けたり、イベントの時はステージにもなったりします。



タワー



ウォータースライダー

滑り台の角度や長さ、着水面の工夫等を研究して作られています。滑る面には厚めのビニールシートが張られ、定期的にメンテナンスをし、約2年で作り変えています。



トランスフォーマー



ハンモック

太いロープで「ハンモックを編もう!」と子どもと大人が参加して制作。夢パークの遊具の中でも大人気。いつもたくさんの子どもが使っては、はねて遊んでいます。

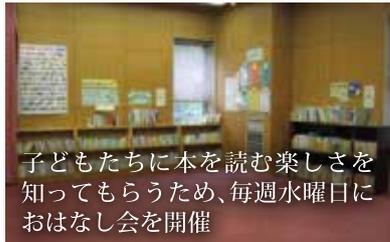
高津区 川崎市立高津図書館 JR南武線・武蔵溝ノ口駅下車徒歩15分、田園都市線高津駅下車徒歩5分 TEL 044-822-2413



高津図書館は、昭和4年に橘樹郡高津町の有志で設立されて以後、昭和12年に川崎市に移管。昭和63年に現在の場所に新築移設された歴史のある、豊かな自然に囲まれた図書館です。また、児童図書担当館として多くの児童書を保存しています。

充実した図書館内

- 【1階】
入口正面はサービスカウンター
左側に児童書コーナー
右側に一般書コーナー
- 【2階】
参考図書や地域資料が閲覧できる参考・郷土資料室と閲覧室



「おはなしのへや」

子どもたちに本を読む楽しさを知ってもらうため、毎週水曜日におはなし会を開催

「よんでみよう! おはなしのほん」のコーナー



はじめてのものがたりを読む子どもに、おすすめの本を紹介

中原区 かわさき市民活動センター JR南武線武蔵小杉駅下車北改札東口より徒歩3分 東急東横線・目黒線武蔵小杉駅下車正面口より徒歩3分 TEL 044-430-5566

市民活動に取り組む個人や団体を総合的にサポートするため、会議室等の場の提供や講座、交流イベント、情報誌の発行、ポータルサイトの運営等多くの事業を行っています。



▲昨年度のごえんカフェの様子

下半期の主な事業

- 【研修・相談事業】
市民活動相談
ボランティア活動を始めたい、団体立ち上げ、運営に関する相談等。
毎週火・土 14:30~16:30は相談員、それ以外は職員が対応。
受講者募集中!
●パワーアップセミナー(10/4,11/8,29,1/17,2/14)
●NPO発見・創造セミナー(新講座10月13日開講!)

- 【交流促進事業】
ごえんカフェ(市民活動交流会)
10月25日(土)
14:00~17:00
ごえん楽市(かわさきボランティア・市民活動フェア)
27年1月31日(土)
10:00~16:00
出店団体募集中!(10/31締切)

センター職員が相談に応じます!

詳細は、ホームページをご覧ください。

かわさき市民活動センター 検索



川崎市市民ミュージアム

武蔵小杉駅 (JR 南武線、横須賀線、湘南新宿ライン、東急線、目黒線)
北口下車 市バス、東急バスで終点下車
Tel. 044-754-4500

川崎の成り立ちと歩みを考古、歴史、民俗等の豊富な資料で紹介する博物館と川崎ゆかりの作品やポスター、写真、漫画、ビデオ等で近現代の表現を中心に紹介する美術館との複合文化施設です。

企画展1 いろいろ、そうそう 田中 岑展

画家・田中 岑(1921-2014 たなか たかし)は、1956年に川崎にアトリエを構え、半世紀以上にわたってこの地で制作を続け、独自の色彩感覚溢れる画風により多くの作家・批評家に高い評価を受けてきました。油彩画の可能性を探り続けて来た作家の初期から最晩年に至る作品を展示し、その長大な画業を紹介します。



▲田中 岑 《エレジー》1984年

企画展2 日清・日露戦争とメディア

近代国家を目指す日本が大国を相手に戦った日清・日露戦争の様子は、国内外の新聞や雑誌等さまざまなメディアで伝えられました。本展では、メディアが、二つの戦争をどのように伝え、表現したかを、ミュージアム所蔵の風刺漫画、錦絵、写真、出版物等を中心に紹介し、メディアの役割を考えます。あわせて両戦争に関する川崎の市域資料も紹介します。



▲小原喜三郎 《滑稽歐亜外交地図》明治37(1904)年



▲陸軍陸地測量部《日清戦争写真図》より明治28(1895)年

期 間: 9月6日(土)~11月3日(月・祝)
会 場: 企画展示室2
観覧料: 一般 600円 学生・65歳以上 500円
中学生以下 無料

期 間: 10月4日(土)~11月24日(月・祝)
会 場: 企画展示室1
観覧料: 一般 500円 学生・65歳以上 400円
中学生以下 無料

生涯学習フラザ ランタチムロビーコンサート

10月4日(土)12:10~12:40



武蔵小杉駅・鶴見駅周辺で練習している混声音楽アンサンブル。二期会オペラ劇場所属の柴田美紀氏のもと、ボイストレーニングしながら楽しく歌っています。

- 曲目
- ① アメイジング・グレイス
 - ② アイ・ガット・リズム(ガーシュイン)
 - ③ 虹(森山直太郎)
 - ④ 好きです川崎愛の街他

観客のみなさんとボイストレーニングしながら歌うコーナーもあります。

・申込は必要ありません
・問合せ
(公財)川崎市生涯学習財団
Tel: 044-733-6626

会場:川崎市生涯学習フラザ1階ロビー

11月11日(火)12:10~12:40

アンサンブル Kiratto☆



- 曲目
- ① ふるさとメドレー
 - ② 落葉松
 - ③ 生まれてはじめて他

子育てを通して知り合い2010年3月に歌(ソプラノ)、フルート、ピアノのトリオ【アンサンブル kiratto☆】を結成。小さな子どもからご年配の方まで一緒に楽しめ、温かな音楽ができたらと毎回3人でコンサート活動を行っています。

あとがき ■俳聖松尾芭蕉の言葉に「不易と流行」がある。不易とはいつの時代でも「変わらぬこと」、流行とは時代の流れや変化で「変わること」を意味します。■1990年に小誌を創刊し今回で200号を発行することができました。■それまでの24年間に学校教育においても、教育の指針といえる学習指導要領は、社会状況の反映をうけながら改訂されてきています。■同様に「生涯学習の振興と整備に関する法律」も、生涯学習を行う機会と整備が充実し続けています。■『Stage Up』も200号の発行を新たなスタートとし、市民が「いつでも、どこでも、だれでも」参加し、共に学び、鍛え、刺激し合えるような内容と構成にこれからも努めていきたいと思う。

かわさき市民アカデミーフェスタ' 14

毎年恒例となっている「かわさき市民アカデミーフェスタ」。
今年も盛りだくさんの内容でみなさんのお越しをお待ちしております！
ぜひ生涯学習プラザに遊びに来て見て体感してください。

日時:2014年11月15日(土)～16日(日)
10時～16時

内容:子ども理科実験教室・朗読会・展示・模擬熟議・
省エネ体験コーナー・フェスタ De コンサート・
中原区文化協会ブース・フリーマーケット・C a f e 等



11月15日(土) 13時30分～15時00分

【基調講演】 地球深部探査船「ちきゅう」と地球生命の謎
独立行政法人海洋研究開発機構 理事長 平 朝彦先生

11月16日(日)13時15分～16時00分

フェスタ・Deコンサート他



会場:川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町 514-1

問合せ:044-733-5590 NPOかわさき市民アカデミー

「かわさき市民アカデミー」で検索

おいしさ、
ミネラル、
いいとこどり!

海洋ミネラル深層水 **miu** new

この商品のミネラルとは、ナトリウムとカリウムのことです。miu、miuピーチ&マスカットは、純水に室戸海洋深層水由来成分を添加しています。miu アクティブチャージは、室戸海洋深層水の原水を3.5%使用しています。

ガイドードリンク株式会社